令和８年度

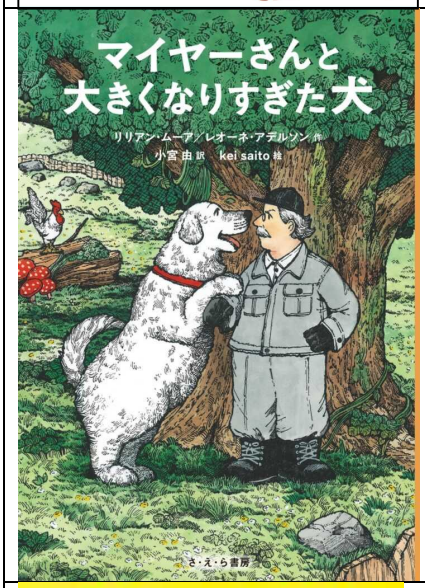
茨城県優良図書紹介【小学校中学年向け】



『知ったかぶりをした日から』

かさいまり/作　おとないちあき/絵(岩崎書店)

東京から北海道に転校してきた風子。早く友達を作りたくて、有名人に会ったことがあると、ついうそを言ってしまいます。しかし、その本人が撮影のために小学校に来ることを知り、うそつきだと思われたくなくて、うそを本当のことにしようとある行動に出ます。



『マイヤーさんと大きくなりすぎた犬』

リリアン・ムーア・レオーネ・アデルソン/作　小宮由/訳
keisaito/絵（さ・え・ら書房）

いきものを大切にすることや、命への責任を教えてくれる物語です。登場する犬たちが、とてもかわいらしく描かれていて、ちょっとしたユーモアに思わず笑みがこぼれる、心あたたまるお話です。



『先生!おかわり禁止ってへんじゃない?』

麻生かづこ/作　イシヤマアズサ/絵（金の星社）

「おかわり禁止ってへんじゃない？」そんな疑問から学校のきまりについて考え始めた春斗たち。学校のきまりって、なんのためにあるの？きまりにこめられた意味とは？春斗たちはきまりをなくすことはできるのか！



『まだまだここから』

宇佐美牧子/作　酒井以/絵（ポプラ社）

小学４年生の蓮は、水泳の特訓生を目指して一生懸命練習しますが、思うような結果にならず落ち込みます。失敗したら全部「むだ」なんかじゃない！蓮が見つける「がんばった」ことの先にある、本当の意味とは？



『てっぺんの葉っぱ』

おおぎやなぎちか/作　イシヤマアズサ/絵

（文研出版）

作者の体験をもとにした心あたたまるできごとがつまっています。ぜひ子どもだけでなく親子で読んで話し合いをしてほしいです。しっぱいをバネに前を向く勇気をあたえてくれる心にのこる一冊です。



『しおりのカチューシャ』

草野たき/作　エヴァーソン朋子/絵（福音館書店）

ある日、あこがれの人と同じカチューシャを見つけた小学4年生のしおり。それを買うために、おこづかいをため、新しい一歩を踏み出します。



『まぼろしの動物ニホンオオカミ 小学生、なぞのはくせいの正体を追う』

たけたにちほみ/作　坂口友佳子/絵（Gakken）

日菜子さんは「好き」をとことんおいかけた小学４年生。まぼろしの動物ニホンオオカミのなぞを追いかけ、専門家の力を借りながら、資料を丹念に調べて歴史をひもといていく。



『殺人パンツがせめてくる! フェイクニュースに気をつけろ』

エリーズ・グラヴェル/作寳雪/日本語版監修

くまがいじゅんこ/訳（玉川大学出版部）

フェイク（でたらめな）ニュースがふえている今、「信じる前にちょっと立ち止まって考える」ことをおもしろく楽しく学ぶことができます。どうしてフェイクニュースが発信されるの？見わけるにはどうしたらいいの？ユニークなキャラクターと一緒に学んでみよう！



『マイ・ディア・フレンド』

小手鞠るい/作　松倉香子/絵　（くもん出版）

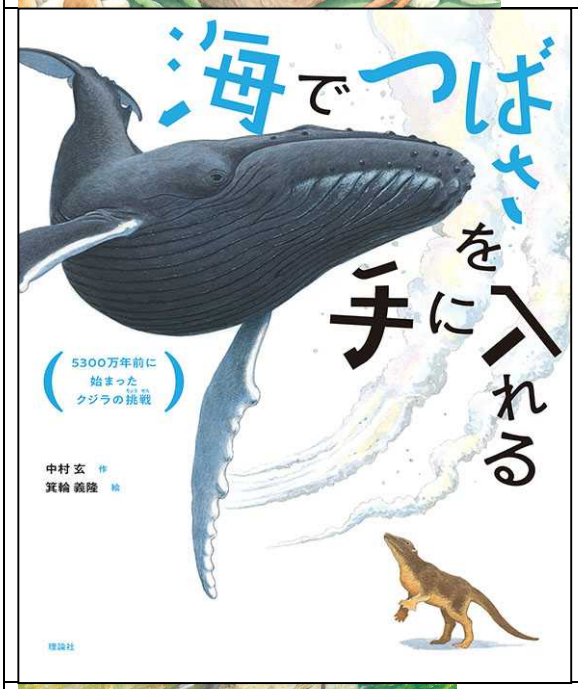
「エンジェル、今、どこで、どうしているの。」さびしさを抱えた小学３年生の若葉くんのいちばん好きな場所は学校の図書館。若葉くんはいつもひとりです。物語にいろどりをそえるようにたくさんの絵が描かれているので、文章とともに絵も楽しんでみてください。



『イタチと野ネズミのはなし』

山下雅洋/作　しもかわらゆみ/絵（アリス館）

ひねくれ者のイタチとスープづくりがとくいな野ネズミの心あたたまる友情物語。森の中における命のつながりとは？心にじんわり残る一冊です。



『海でつばさを手に入れる　5300 万年前に始まったクジラの挑戦』

中村玄/作　箕輪義隆/絵　（理論社）

クジラがほにゅう類で、陸から海にもどった理由をわかりやすく理解できます。はるか昔の地球には、どんないきものがいて、どんなふうに暮らしていたのか。そんな想像を膨らませながら、進化を物語として楽しめる一冊です。



『山の神の使い』

最上一平/作　マメイケダ/絵　（童心社）

都会から来た子どもの目を通して、命のとうとさや日々のいとなみを思い出させてくれます。そんな自然や家族のあたたかさを伝えてくれる一冊です。